



ぼうさいこくたい2024
KUMAMOTO KURASU

ぼうさい×たぶんかきようせい

だれ1人取り残されない多様な社会と防災・災害支援のために
～熊本地震を教訓とした現在の取り組み～

2024.10.19 土

12:30-14:00

開場12:20

先着160名

会場

熊本市国際交流会館 6Fホール
熊本市中央区花畑町4-18

2024年10月19日（土）20日（日）の2日間【ぼうさいこくたい2024】が熊本市で開催されます。
KUMAMOTO KURASUは、「外国人と防災・災害」をテーマとして「セッションの部」に出展します。

セッション

熊本地震の教訓と防災×多文化共生の可能性について、各登壇者の立場や経験からお話します。

関連展示

熊本地震時の実際の対応やJICAによる防災・災害対応、防災食に関する展示（同会館2F）

協力：KVOAD（くまもと災害ボランティア団体ネットワーク）、熊本県観光国際政策課、
（一財）熊本市国際交流振興事業団、熊本YMCA、JICAデスク熊本（JICA九州）

2016年の熊本地震発災時、熊本に住む外国人の方々が、十分な防災、災害の知識を知らなかったことから、避難場所もわからず、支援物資を受け取るにも困難な状況に直面しました。また、その後も県内において災害が発生しており、災害に不慣れで、日本語も良く理解できない外国人の方々に円滑に情報を伝え、誰1人取り残されないよう支援の手が届くようにすることの重要性が認識されるようになりました。一方で外国人の方々は、情報を得て、地域住民の方々と協働することで、支援する側になれることも認識されるようになってきました。熊本では、これまでの教訓から外国人を対象とした防災セミナーや、災害時の共助についての取り組み、平時から顔の見える交流をすることで「つながる」ための取り組みが行われるようになっていっています。

今回、KVOAD（くまもと災害ボランティア団体ネットワーク）、熊本県観光国際政策課、熊本市国際交流振興事業団、熊本YMCA、JICAデスク熊本とともに、発災から避難所開設、多言語による情報発信、当時の教訓から現在の取り組みについて、支援する側の視点、被災外国人の視点、そして現在の共助のための取り組みなどについてのトークセッションを行います。

〈プログラム〉

12:30～ 本日のプログラムについて 熊本市国際交流振興事業団 八木浩光氏

12:35～ 熊本地震の経験から

① 「熊本地震、熊本市国際交流会館の外国人避難所対応と教訓」

熊本市国際交流振興事業団 勝谷知美氏

② 「熊本地震、熊本YMCAの留学生対応と教訓」

熊本YMCA学院 尾道一幸氏

③ 「被災経験した外国人の体験から」

くま台湾Neo ^{きゅうけいふん} 邱桂芬氏

熊本大学特任助教 アンドリュー・ミッチェル氏

熊本イスラミックセンター マルロー・スイスワヒュー氏

13:25～ 熊本地震を教訓とした現在の取組

① 「災害時を見据えた外国人住民との顔の見える関係構築」

特定非営利活動法人バルビー／KVOAD 岳中美江氏

② 「熊本地震の経験を踏まえた防災の取組み」

熊本市国際交流振興事業団 吉田直氏

③ 「留学生と防災・災害支援」

熊本YMCA学院 尾道一幸氏

④ 「高校生が取り組む外国人との協働による防災活動について」

熊本県立済々黉高等学校 ^{せいせいこう} “ペリペティア”

13:50～ まとめ 熊本大学助教／KUMAMOTO KURASU副会長 デブコタ・ハリ氏

14:00 終了

関連展示

熊本地震時の実際の対応や、JICAによる防災・災害対応、防災食に関する展示を行います！



同会館2F
交流ラウンジ

